



# 安全だより

第38号  
令和元年11月発行  
公益社団法人  
東大和市シルバー人材センター  
安全管理委員会

## 委員長挨拶

今年6月の定時総会後の安全管理委員会において、委員長に就任した中原です。

また、新年度より植木剪定班の関田実会員、施設管理班の松本芳久会員、学校管理班の松本正典会員が新たに安全管理委員会委員として会長より委嘱されました。

安全管理委員会と会員の皆様とで、安全についての認識を共有し、就業現場の実際を見聞きし、これらのデータを基にして、安全管理の充実をはかり、会員の皆様のお役に立ちたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。  
中原 拓三

## 令和元年度シルバー人材センター安全大会報告

開催日時：令和元年9月20日（金） 13:30～16:30

開催場所：東京しごと財団

1：「安全就業優良シルバー人材センターの表彰」があり、東京都シルバー人材センター58区市町村の中から「豊島区、北区、福生市、檜原村」各センターが選ばれました。今回選ばれた選定基準は、傷害保険支払件数等（度数率）及び重篤事故の数値等（強度率）が少ないという理由です。

平成30年度実績

SC名称	会員数	度数率	都度数率平均	強度率	都強度率平均	コメント
豊島区	1504名	4.33	16.25	0.001	1.62	就業率80%にもかかわらず事故1件重篤事故0
北区	2452名	8.29	16.25	0.004	1.62	就業中の転倒に注意し事故を減らしている
東大和市	680名	27.36	16.25	1.512	1.62	傷害事故10件、重篤事故2件

当センターは、安全知識の情報を提供し、事故ゼロ（就業中、途上中）を目指します。

2：「安全就業標語入賞作品」の表彰がされました

優秀作品（他3点）・・・「知らぬ間に積もる疲れが事故招く」  
東大和市 横川たまえ氏（家事援助班、安全管理委員会）

今回の受賞については、東大和市シルバーセンター安全管理委員会内の選考を経て、都内58センターを対象に東京しごと財団が選定した標語です。厳しい審査のもと、当センター会員の標語が選ばれました。おめでとうございます。来年も、皆さんの標語作品に期待しております。ご応募お待ちしております！



# 令和元年度健康診断受診調査結果

健康診断受診調査につきまして概要がまとまりましたのでご報告いたします。

提出にご協力いただきありがとうございました。

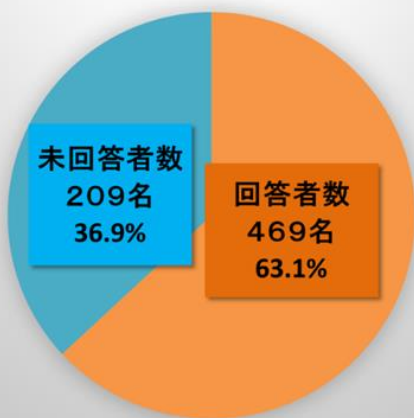
## 実施内容

- ・令和元年7月25日現在の登録会員680名に対し健康診断受診調査を配布。
- ・令和元年8月30日までに回収。平成30年4月～平成31年3月（平成30年度）の間に健康管理の一環として健康診断を受診されたか否かを問いました。

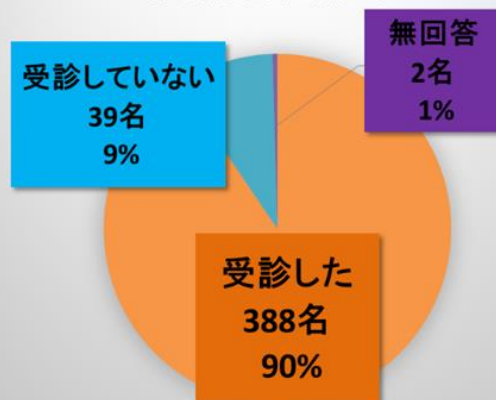
## 評価

1. 調査の回答率、前年度より受診者数が減少した。
2. 回答者及び就業者の受診率は90%以上の高率を維持しました。
3. 安全就業基準にもあるように、健康診断はすすんで受けなければなりません。常に健康の維持管理に努めてください。

### 全体の回答者数

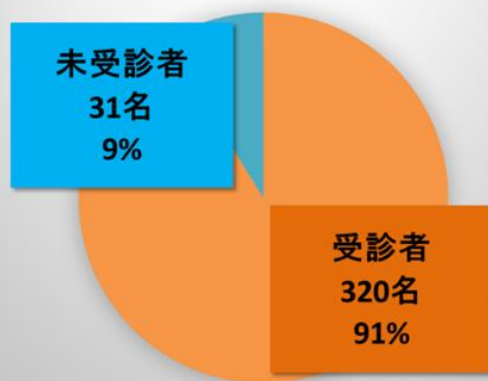


### 回答者受診率



	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
会員数	619	609	609	678	680
就業者数	460	455	441	456	457
就業率	74.3%	74.7%	72.5%	67.3%	67.2%
回答数	275	259	317	469	429
回答率	44.4%	42.5%	52.0%	69.2%	63.1%
受診者数	251	248	292	427	388
回答者受診率	91.3%	95.8%	92.1%	91.5%	90.4%

### 就業者(提出者)中の受診率



# 応急救護訓練実施報告

令和元年 10 月 10 (木) 10 時より中央公民館ホールで東京消防庁北多摩西部消防署救急係員の指導のもとに「応急救護訓練」を開催いたしました。当日は、当センター会員 23 名・事務局 3 名で「人工呼吸・AED」の使用手順について実技を真剣に学びました。(特に高齢者は二人以上での協力対応が良い)

## 手順①⇒反応の確認

肩をたたきながら「わかりますか？」と声をかける



## 手順②⇒周りに協力を依頼

大声で助けを頼み「あなたは 119 番通報あなたは AED を持ってきて」と頼む



## 手順③⇒呼吸の確認

呼吸を確認する。胸やおなかの動きを見て呼吸の確認を行う (10 秒間)



## 手順④⇒心臓マッサージ

両手で胸の真ん中を 5cm 位深く 100~120 回/分のマッサージを 30 回行う



## 手順⑤⇒人工呼吸を行う

気道を確認して心臓マッサージと人工呼吸を 2 回繰り返す



## 手順⑥⇒AED 到着

一人が心臓マッサージを続け、もう一人が AED の電源を入れ、メッセージに従って操作する



心臓マッサージや人工呼吸を行い「意識や呼吸」が戻ったら「AED」は使用しない事



## 第6ブロックシルバー人材センター安全就業研修会 参加報告

中原 拓三

開催日時：令和元年9月5日（木）14時～16時

開催場所：立川市シルバー人材センター 2階会議室

参加者：第6ブロック（東大和市を含む多摩地域の15センター）から各センターの安全管理委員など3名程度

### 研修内容

#### 第1部

- 東京都シルバー人材センター連合における傷害事故発生状況・事故発生のメカニズムや原因分析・事故対策など。続いて、危険予知活動の重要性、その進め方などの講義。

#### 第2部

- グループ討議となり、一つの課題について、一人KY訓練の体験、その後、個人で指摘した危険予測ヶ所について、グループ内で突き合わせ、何が本質的な危険が予測される行動であったかなど、各自の意見を発表しました。

#### 講評

- 今回の研修会に参加したことにより、改めて安全に対する意識と危険だと感じる感受性の重要性を認識しました。

下欄の表「一人KY訓練の実践事例」は研修会当日使用したものです。

皆さんも表中の文章を読んで、右側の黄色の欄に「自分も同じ体験をした」「気づき・反省改善点」などを、ご自分の考えで記入してみてください。また誰か同僚の方でもいましたらそれらを突き合わせてみてください。

## 一人KY訓練の実践事例

ヒヤリ・ハット体験（又は事故）事例			一人KY訓練シート			
職群・職種	要因・区分	年齢	ヒヤリ・ハット（又は事故）した状況	この時の問題点（会員の評価）	同体験	気づき・反省・改善点
除草	すべり	71歳	公園で草刈り作業中、 <b>緩い斜面</b> で足を <b>滑らせ</b> 転倒した。	<b>雨降り</b> 後で地盤が悪かった。 <b>滑り止めのある履物</b> でなかった。 <b>注意力散漫</b> だった		
除草	踏みはずし	73歳	刈った草を片付けで運んでいた時、溝で足を <b>踏み外し</b> 、溝に落ちてむねをうった。	刈った草が溝の上に置いていたのを <b>忘れてた</b> 。 <b>足元をみていなかった</b> 。		
施設管理	踏みはずし	72歳	施錠確認で校舎内を巡回中、 <b>階段</b> で2段目を <b>踏み外し</b> 、転ぶところだった。	夕暮れで <b>薄暗</b> かった。懐中電灯を携帯していたが <b>使わなかった</b> 。 <b>照明</b> をつけていなかった。		
家事援助	つまずき	67歳	高齢者宅で掃除機で掃除中、コードに <b>つまずいて</b> 転倒しそうになった。	発注者の動きに <b>気を取られていた</b> 。自分の <b>足元</b> を見ていなかった。		
駐車場管理	自転車転倒	65歳	自転車で就業先へ行く途上、車道を走行していたが、前方の信号のため <b>歩道に上がろう</b> として黄色の縁石を <b>斜めに進んだ</b> ら滑って転倒	<b>スピードを落とさず</b> に縁石を渡ろうとした。 <b>濡れている</b> 状況が分からなかった。 <b>降りて渡ら</b> なかった		
植木	自転車転倒	71歳	遅刻しそうになり、自転車で <b>交差点の手前の道路を横切って</b> 渡ろうとした	<b>あわてていた</b> 。 <b>交通ルール</b> を守らなかった。交差点で自転車から <b>降りな</b> かった。		